



目次

I. クラウドファンディングのご報告とご支援への御礼

II. アフターレポート

1. Spring 開催中止まで
2. Summer 延期発表まで
3. Summer 当日まで
4. Summer 当日
5. Autumn 当日まで
6. 同人文化の未来に向けて

III. おまけ

- Appendix A. クラウドファンディング ご支援者一覧
- Appendix B. クラウドファンディング プロジェクト開始にあたって
- Appendix C. Spring/Summer/Autumn 代表あいさつ
- Appendix D. Twitter 掲載 代表コラム総集編

1. クラウドファンディングのご報告とご支援への御礼

クリエイション事務局として初めてのクラウドファンディングプロジェクト、「池袋発の同人誌即売会『サンシャインクリエイション』を未来の参加者に届けたい」にご支援を賜り、ありがとうございます。

まったくの手探りでしたが、100万円を目標としたこのプロジェクトに対して、240人のご支援者から291.4万円のご支援をいただきました。繰り返しとなりますが、みなさんに深く御礼を申し上げます。

そして、イベント開催のご報告ですが、このプロジェクトのターゲットであったサンシャインクリエイション2020 Summerは多くのご来場の下で成功、2020 Autumnについても無事に当日を終えることができました。目標であった「新しい同人誌即売会の開催様式」についても、中規模イベントが実現可能な範囲で、一定の方向性を示すことができたのではないかと考えています。ご支援下さったみなさんを始めとした、サークルさん・一般参加のみなさん・事務局スタッフという、参加者のみなさんのご尽力のおかげだと思っています。

今回のプロジェクトでは、事務局スタッフ一同、どのように謝意をお伝えすべきか議論を重ね、グッズからレアな体験までリターンをご用意させていただきました。その中でも、ご支援していただいたみなさんにお送りさせていただくのが、代表が執筆するこのレポートです。毎回公式Webに掲載している当日のアフターレポートを掘り下げ、みなさんにこの半年間の舞台裏をお見せしたいと思います。

同時に、後世の同人文化研究家が振り返ったとき、コミケットが開催されない2020年というエポックメイキングな一年に、一つの中規模イベントがどのように考え、どのように行動し、その継続を目指して奮闘したのかという、ひとつの証跡でもあると思います。

1月「新型コロナウイルス」という言葉が世の中を騒がせ始めたころ、それはまだ国外や船上での出来事でした。2月上旬からその足音が大きくなり始め、同月下旬にいくつかの大型イベントが中止や無観客開催となり（個人的に印象に残っているのは某生活密着型ラウドロックバンドのZepp Tokyo無観客ライブですが……）、3月8日のサンシャインクリエイション2020 Springの開催可否に向き合ったところから、このレポートは始まります。

新型コロナウイルスで暗いニュースがまだまだ続きますが、少しでも楽しんでもらえる幸いです。引き続きクリエイションをよろしく願いいたします。

クリエイション事務局代表 岡安 英俊

II. アフターレポート

1. Spring 開催中止まで

冬コミが終わり、オリンピックイヤーの2020年が始まった。オリンピックによって展示会需給が逼迫する今年に向けて、同人業界的にはビッグサイトを利用する各即売会が「DOUJIN JAPAN 2020」というプロジェクトを立ち上げ、文化的な意義を訴えつつGWの開催日程を勝ち取り、5月にコミックマーケット98が行われることになっていた。

各即売会の日程が影響を受ける中、サンシャインクリエイション2020は例年より少し遅い3月8日の開催を予定していた。クリエイション事務局のスタッフの9割(体感)はコミックマーケットのスタッフでもあるので、年始2週間くらいはある意味「リフレッシュ期間」にもなっており、Twitterで申込め切のリマインドをかけつつ、少しだけ特別な1年の始まりをのんびりと迎えていた。

1月、中国武漢での新型コロナウイルス感染拡大、ダイヤモンド・プリンセス号での感染者発生が報じられてはいたが、この段階ではまだまだ海外や洋上の出来事であった。

2月15日ごろ、例によってめ切を大幅にぶちぎって提出したサンシャインクリエイション2020 Springの代表あいさつには、こんなことを書いた。

もう1つは、現在世界で猛威を奮っている新型コロナウイルスの影響です。横浜で開催予定だった大規模な国際展示会が中止になるなど、既にMICE(Meeting・Incentive・Conference・Exhibitionの頭文字をつなげた催事の総称)業界には、大きな影響が出つつあります。サンシャインクリエイション自体は、幸か不幸かそこまで国際的なイベントではありませんが、多くの人が集まることは間違いありません。咳が出る場合のマスクの着用等のエチケットはもちろん、体調が悪ければ参加しないなど、自衛と配慮をお願いできればと思います。

参加者の自律と相互扶助を基本とする同人誌即売会の基本精神「自衛と配慮」の問題ではないことは、その後すぐに明らかになっていった。翌日の2月16日に、2月29日～3月1日に開催予定であった「技術書典8」の中止が発表された。カタログを既に印刷していた3月開催の同人誌即売会は、相互に情報を交換しながら頭を悩ませることになる。

2月18日、厚生労働省からは

国民の皆様におかれては、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

(中略)

多くの方が集まるイベントや行事等に参加される場合も、お一人お一人が咳エチケットや頻繁な手洗いなどの実施を心がけていただくとともに、イベントや行事等を主催する側においても、会場の入り口にアルコール消毒液を設置するなど、可能な範囲での対応を検討いただけますようお願いいたします。

という発表があり、イベント主催者側でも一定の対策を行う必要が生じてきた。2月22日、予定通り Spring のスタッフ集会が開催された。この時点では「来場前の検温、マスクの着用、手指の消毒をアナウンスしていく方針」という説明を行ったものの、あくまで通常通り開催する予定であった。2月26日に行った会場との打ち合わせにおいても、同様の対策を行って開催する方針に、特に異議は示されなかった。

2月27日、政府から3月2日からの休業要請が出され、翌2月28日には北海道で独自の緊急事態宣言が出された。この27日には3月1日開催予定であった「M3-2020春」の縮小開催が発表され、参加断念サークルへの参加費一部補償や、一般参加者へのカタログ返金が告知された。M3の副代表の某氏はクリエイションの元スタッフなのだが、いろいろと情報交換させていただいたことに、改めて御礼を申し上げておきたい。

2月28日、こうした情報交換を元に Spring の開催方針 [資料1] を発表し、参加者への体調管理や咳エチケットのお願い、欠席サークルへの対応告知を行った。並行してスタッフ用のマスクや消毒液の調達を進めていった。

3月になっても変わらずに開催に向けての取り組みを重ねてきたが、2月下旬の東京ドームライブ等の大型イベントの中止を受けて、3月2日に会場からは「中止または延期の相談」があった。サンシャインシティ内の施設・店舗もほぼ休業に入るとのことであった。「ショー・マスト・ゴー・オン」の精神に基づき、告知したイベントを中止することは可能な限り避けたかったのだが、中止の検討を本格化することとなった。

翌日3月3日夜、責任者を集めての zoom 会議を行った。その招集メールに付けた文章が [資料2] である。改めて見直すと、この段階で個人的にはかなり「中止」に傾いていたのだと思う。責任者の会議では、大きな異論もなく中止が正式決定した。正直言って「万一感染者が出た場合の継続リスク」があまりにも大きかったのだと思う。状況が不透明であることを受けて、Summer のオンライン申込開始時期についても、Spring 開催当日前後に予定してたが延期することにした。

こうした議論を経て、3月4日10:00にリリース [資料3] を発出し、参加サークルへのメール送付、メールアドレスのないサークルへのお知らせ投函を行った。12:00 までには会場・印刷会社・出展企業等への連絡を終えた。

全国同人誌即売会連絡会を通じて、交流のあるイベントとは情報交換を行ってきたが、ほぼ同じタイミングでスタジオ YOU の「おでかけライブ in 札幌 144」の中止や赤ブーブー通信社の「TOKYO FES 2020 Mar.」の中止が発表された。

Spring が開催されるはずだった3月8日当日、万一来場してしまった人に対応するため、責任者数名が池袋に集まった。われわれが認識している範囲で、間違っ来場した人はいなかったはずだが、近隣に住む参加者が何人か様子を見に来て、次回開催についての質問などがあった。ほとんどの店舗が休業するサンシャインシティ ALPA で軽くご飯を食べつつ、次回開催に向けた議論を行った。



▲開催当日となるはずだった3月8日に撮影したAホール間の中央通路。ここだけでなく、サンシャインシティ全体に人の気配が無かった。



こうして、後世のコンテンツ文化史研究者からは「同人文化の転換点」と言われることになる（はずの）2020年が、幕を開けた。

開催方針について

2020年3月8日開催の「サンシャインクリエイション 2020 Spring」について、現時点（2月28日）では予定通り開催する方針であることをお知らせします。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、2月26日に政府から全国的なスポーツ・文化イベントの中止・延期・規模縮小の要請がありました。かかる状況を踏まえ、クリエイション事務局としては他催事の開催状況を調査すると共に、会場であるサンシャインシティと対策を協議し、以下の対策を行った上で開催する方針を確認しました。

- ホール入口付近に消毒用アルコールスプレーを設置します
- 非常口等を開放し、会場内の換気に努めます
- 参加者/スタッフに対し、体調が悪い場合に参加を控えるよう周知を行います
- 参加者/スタッフに手洗い・咳エチケット等の感染予防策の啓蒙を強化します

しかしながら、今後の状況を受けて政府・自治体からの中止命令や、会場の利用ができなくなった場合、中止とさせていただきます。その際にはこの公式 Web サイトや公式 Twitter で告知させていただきますので、確認をよろしくお願いいたします。

クリエイションとしてはその理念に従い、日々の活力を生み出す創作という営為を支え、それを支える方々の基盤を守っていくため、熟慮の末に開催という方針に至りました。今回の事態に、多くの催事が開催・延期・中止の厳しい判断を迫られています。催事にとって安全な開催はひとつの至上命題ではありますが、一度の延期・中止が終了につながってしまうこともあります。今回の対応に様々なご意見もあると思いますが、引き続きクリエイションという自由な表現の場を支えて頂けると幸いです。今回参加を控える方も、次回の Summer やその次の Autumn にお会いできることを楽しみにしております。引き続き、クリエイションをよろしくお願いいたします。

クリエイション事務局 スタッフ一同

参加されるみなさんへのお願い

- ・ご自身やご家族の体調が悪い場合や風邪の症状がある場合、参加しないで下さい
- ・感染予防策として手洗いを励行して頂き、咳エチケットの実行をお願いします

欠席されるサークルのみなさんへ

今回の状況を受けて、ご自身やご家族の健康を鑑みて、ご欠席される方もいらっしゃると思います。開催後、公式 Web サイトに設置するフォームから3月末日までに申請して頂くことで、下記イベントのいずれかに振替参加することができるオンライン申込用のクーポンコードを発行いたします。

- 2020年6月21日 サンシャインクリエイション 2020 Summer (オンライン申込〆切:5月11日)
- 2020年9月27日 サンシャインクリエイション 2020 Autumn (オンライン申込〆切:未定)

ご案内の通り、これは究極の選択です。

[開催]

赤ブーも中止の状況で開催を強行し、万一感染者が出た場合には、
参加者への検査への呼びかけ等も含め、クリエイションの信頼が地に堕ちる

vs

[中止]

ここまで開催を引っ張ったことに対し批判される。場を守る意志に傷がつく。
(会場からの強い要請を理由にできたり、代替開催が同時に言えればまだまし)

※ あとは「中止」というか「延期」というか 等

以下、昨日一部に送ったメールです。議論の参考にして下さい。

明日の午前が実質的な Point of No Return です。

サークルがある程度来て、カタログが一定程度売れるのであれば、
開催の方が、財務的には場の継続に寄与することになります。一方で

- ・直前に中止で、会場費戻ってこない+会場との関係が悪化する
- ・欠席だらけの状況で、参加者のサンクリに対する印象が悪化する
- ・感染者が出た場合、説明責任を問われて今後の開催が難しくなる
(影響範囲的に、個人情報以上の不祥事と言われかねない)

というリスクを踏まえた上での開催判断となることは、
この場の一同、腹を括っていると思いますが、念のための確認です。

今回の状況を見るに、表現規制っぽい過去の圧力とは違い、
開催することの方が場の継続に対するリスクが大きいです。
症状が出ていない人も含め、感染者が参加したら終わってしまいかねない、
という観点で申し上げますと、一定以上の対策ができない賭けにもなります。

どちらかといえば、今後の同人誌即売会（業界）へのドミノ倒しを防ぐ、
という大義が裏にあるというのが、正当化のロジックだと思います。
そうしたことも踏まえ、開催することの価値をどう伝えていくのか、
非常に重要なポイントだと思っています。

もちろん、赤ブーさんも含め、無事に終わるのを見届けてからですが。

サンシャインクリエイション 2020 Spring 中止のお知らせ

大変残念ながら、2020年3月8日に開催を予定していたサンシャインクリエイション 2020 Spring を中止させていただきます。直前のお知らせとなり、大変申し訳ございません。

政府による2月26日の大規模なイベントに対する開催の中止・延期・縮小要請を受け、同人誌を中心とした自由な表現の場を守っていくため、他催事の開催状況、周辺施設の営業状況に目を配りつつ、開催に向けて関係者と協議・調整を重ねてきました。消毒液・マスクの準備や救護体制の整備など、感染対策の目処もつきつつありましたが、万一感染された方の来場が判明して今後の開催が難しくなることなど、将来の継続に対するリスクを熟慮し、今回の決断に至った次第です。

もちろん今回の判断に当たり、我々の即売会への影響だけではなく、一定規模の同人誌即売会として、同人文化全体への影響を鑑み、開催日程の近い他イベントとの情報交換も行ってきました。過去に、表現規制等の問題で同人誌即売会の開催が難しくなったことは、何度かありました。今回はこうしたケースと全く異なり、場を守ろうとすることで、場を失いかねないセンシティブな状況であり、それぞれのイベントが、それぞれの覚悟の下で、中止・延期・開催等の苦渋の選択をされています。クリエイションはやむなく中止の判断を下しましたが、公共性を振りかざし一律の判断を迫ることは、必ずしも正しいことではないと信じます。各イベントに対し、これまでと変わらぬ応援を頂きますと幸いです。

今回、我々がイベントを延期ではなく中止とした背景は、次回開催の日程が近いからです。今回は、6月21日にサンシャインクリエイション 2020 Summer を開催する予定です。新型コロナウイルスの災禍が、そのころどのような状況になっているか、現時点では予想できませんが、状況に変化があり次第、改めてみなさんにお知らせいたします。

参加を予定されていたサークル参加者・一般参加者へのみなさんへの対応は、クリエイション公式サイトでお知らせします。今回は大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。引き続き、クリエイションをよろしくお願いいたします。

2020年3月4日
クリエイション事務局

2. Summer 開催告知まで

3月24日、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催延期が発表された。映画『AKIRA』には「東京オリンピックまであと147日」というカウントダウンの看板に「中止だ中止」と落書きされているシーンがあったが、それが現実になってしまったことに、Twitter 界隈ではざわつきが広がっていた。

数日後の3月28日、コミックマーケット98の中止が発表された。8月のオリパラが中止となる中、世界各国から数十万人の参加者が集まるコミケットの5月開催が難しいことは、ある程度みなが予想していた通りであった。

4月に入り、東京都における新規感染者数が200人を超える日が続いた。こうした中で4月7日、東京都を含む7都府県に緊急事態宣言（5月6日までの1ヶ月間）が発出され、7～8割の外出削減を目指した自粛要請が行われた。

4月9日、クリエイションの代表・副代表が集まり、6月21日開催予定の Summer の開催判断を緊急事態宣言が終了後速やかに行うこと、オンライン申込開始は5月11日以降とすることが確認された。

しかしながら、4月16日には緊急事態宣言の全国拡大、5月4日には5月末までの延長が発表され、事態は一向に好転しなかった。そのような中、5月9日に Summer に向けた第1回責任者 zoom 会議を行い、Summer を7月中旬以降に延期すること、5月末までに代替日程を告知することを決定した。

5月11日、Summer 開催延期のリリース [資料4] を発出した。改めて読み返してみると、個人的にも家にいることに慣れすぎて「リアルの間」の価値への思索が始まっていることが見て取れる。このころから「中規模同人誌即売会で実現できる、新しい開催様式の探求」というのが、ひとつのテーマとなっていく。ちなみに同日には11月1日開催予定であった「ワンダーフェスティバル2020秋」の中止も告知されている。

5月22日、会場から代替日程として8月2日の提示がある。翌5月23日、再び代表・副代表が zoom で集まり、同日の開催とテーマ「Creation: Re-Creation」が決まる。このころにクラウドファンディング、ガチャガチャ、動画配信、企業スポンサー募集などのアイデアが出て、Summer の大枠が見え始めた。

5月30日、第2回責任者 zoom 会議を開催。8月2日の開催と企画の大枠を説明し、Summer に向けた準備が本格始動する。この日の夜にスタッフのU君と二人と食事に行ったとき、彼のLINEにスタッフA君の訃報が入ってきた。体調を崩していたと聞いていたがまだ30代半ば。昨年の Autumn ではスタッフとして参加してくれていた彼が、イベントで会うことが出来ないまま帰らぬ人となってしまったことに、涙が止まらなかった。心よりご冥福をお祈りする。落ち着いたら、墓前に開催を報告したい。

これを受けて5月31日に書いた Summer 開催のリリースで「でもぼくたちは、汗をかいて会場を歩き回って、新しい作品やジャンルに出会えるリアルの間が懐かしいし、そこで知り合った仲間とも、また逢いたいと思っています」には、そういう背景があったのだ。キャッチフレーズ「Reboot DOUJIN Culture, Re-Create Our Fields.」には、必ずやこの場を未来に続ける、強い決意を込めたつもりである。開催に向けた内なる闘いが始まった。

サンシャインクリエイション 2020 Summer 開催延期のお知らせ

いつもクリエイションにご参加頂き、ありがとうございます。サークル参加申込受付（オンライン）を延期しておりました2020年6月21日開催予定のサンシャインクリエイション 2020 Summerにつきまして、開催を延期することにいたしました。

政府が緊急事態宣言を5月末まで延長することを決定し、会場のある東京都を含む特定警戒都道府県においては「これまでと同様の取り組みが必要」とされました。仮に5月末に緊急事態宣言が解除されたとしても、特定警戒都道府県以外と同様に「社会経済活動の維持との両立に配慮した取組に段階的に移行していく必要がある」のだとすれば、社会の要請に従った形でサンシャインクリエイション規模のイベントを6月に開催できるかどうかは、不確実性が高いと言わざるを得ません。

また、5月4日に厚生労働省によって示された「新しい生活様式」においては、身体的距離の確保（いわゆるソーシャルディスタンス）等を含む対策について、「長丁場に備え、感染拡大を予防する新しい生活様式に移行していく必要」と述べられています。これを同人誌即売会で実践しようとする、一般参加者の待機列やサークルの配置において、どう距離を確保するのかといった課題に向き合わねばなりません。正直、これを実行しようとすると収支や運営が厳しくなり、参加者のみなさんにこれまで以上の負担をお願いすることになってしまいます。

こうした事情を鑑み、サンシャインクリエイション 2020 Summer は、7月中旬以降への延期を決定いたしました。遅くとも5月末までには、延期後の日程告知、もしくは代替日程が確保できなかった場合（=2020 Autumn が9月27日開催ですので、そこからある程度の間隔を空けられない場合）には中止告知ができるよう、調整を進めていきます。参加を予定されている方には大変申し訳ありませんが、もうしばらくお時間を頂けるようお願いいたします。

この「Stay Home」の期間に多数行われた「テレワーク」「Zoom 飲み会」といったものは、人々のつながり方を不可逆に変えています。コロナウイルスの災禍が過ぎ去った後の社会システムも、おそらく元に戻るわけではないのだと思います。数々の即売会が中止・延期となった同人業界においても、テクノロジーが同人誌即売会の流通機能・コミュニケーション機能の一部を代替しています。さらに、ニーズの高まりを受けたバーチャルイベントプラットフォームの機能も、VR技術の進化と共に劇的に高まっています。外部環境に合わせて、同人誌即売会の求められる機能、果たすべき機能も、きっと変わっていくことでしょう。

一方、こうした時代の同人誌即売会の本質的な存在意義も、見えてきたような気がしています。ひとつはマイルストーン（生々しく言う入稿べ切）の存在が本を作る背中を押していること。もうひとつは、ある種の「祭」として、そこに向けた熱量を生んでいることです。同人誌即売会が「その日にしか、そこにはない」存在、会場に机とイスで描かれた魔法陣だからこそ、そんな「魔力」を生んでいるのかもしれない。

同人誌即売会がバーチャルイベントによって代替されてしまう悲観的なシナリオも考えられますが、クリエイションとしては同人誌即売会「ならではの」新しい価値を提示し、それに共鳴してくれる人たちと、場の継続を目指していくことができると信じています。この難局を乗り越えた暁には、同人誌即売会という「新たな表現の誕生と、その表現との出会いを祝う場」の復活を祝し、盛大にクリエイションを開催したいと思います。今後とも、よろしく願っています！

2020年5月11日 クリエイション事務局

3. Summer 当日まで

前述の5月30日の第2回責任者 zoom 会議では、Aホールで400スペースを配置すること、冊子カタログは発売せず Web カタログとすること、カタログ全員購入の代わりにリストバンド型入場証を購入していただくこと、6月中旬から6月29日までの約2週間を申込期間とすることなどを決め、各責任者に運用の検討を要請した。

6月6日には第3回責任者 zoom 会議を開催、オンライン申込開始に向けた準備状況や各企画の進捗状況を確認した。6月10日には日本展示会協会のガイドライン、12日に会場のガイドラインが示された。6月13日の第4回責任者 zoom 会議では、検討していた運用でガイドラインを達成できそうなことが確認され、下記企画の開始を正式決定し、6月20日に開催概要をリリースした。

- ① Creation: Re-Creation クラウドファンディング
- ② クリエイションヒストリーガチャ
- ③ Sunshine Creation Online (エアイベント)
- ④ Reboot DOUJIN パートナースHIP (広告パッケージ)
- ⑤ クリエイション秘密基地 (YouTube 動画配信)

| | | | | | |
|--|---|---|---|----------------------------------|---|
| <p>池袋サンシャインシティで、また会いましょう</p> <p>サンシャインクリエイション 2020 SUMMER</p> <p>8月2日(日)開催決定、サークル募集を開始!</p> <p>お待たせしました!会場との協議を重ねてきたサンシャインクリエイションですが、出展サークルの募集を開始しました。今回はさまざまな変更点を予定していますが、同人誌即売会という場が、文化として培ってきた、参加者による自律と相互の協力があれば、きっと同人誌即売会のNew Normalを見出し、一緒に創っていただけることを信じています</p> <p style="text-align: center;">サークルのみなさん向け 一般参加者のみなさん向け</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #fff; color: #f96;">オンライン申込のみ カタログはデジタル化、 7月中旬発行予定</td> <td>1スペースは机半分、 サークル通行証2枚、 イス1脚 (追加イスなし)</td> <td>一般参加は入れ替え制、 リストバンド型の入場証 (1,000円)を購入</td> <td>コスプレ可能! コスプレ登録料は 1,000円を予定</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; font-weight: bold; color: #f96;">申込〆切: 6月29日(月) 18時</p> | オンライン申込のみ カタログはデジタル化、 7月中旬発行予定 | 1スペースは机半分、 サークル通行証2枚、 イス1脚 (追加イスなし) | 一般参加は入れ替え制、 リストバンド型の入場証 (1,000円)を購入 | コスプレ可能! コスプレ登録料は 1,000円を予定 | <p>サンシャインクリエイション 2020 SUMMER</p> <p>サークル参加関連スケジュール</p> <p>オンライン申込〆切 6月29日(月) 18時</p> <p>当落通知(メール) 7月8日(水)</p> <p>参加案内発送 7月15日(水)</p> <p>Webカタログ公開 7月中旬(予定)</p> <p>イベント当日 8月2日(日)</p> |
| オンライン申込のみ カタログはデジタル化、 7月中旬発行予定 | 1スペースは机半分、 サークル通行証2枚、 イス1脚 (追加イスなし) | 一般参加は入れ替え制、 リストバンド型の入場証 (1,000円)を購入 | コスプレ可能! コスプレ登録料は 1,000円を予定 | | |

| | | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|--|--|--|--|---|---|---|
| <p>Creation: Re-Creation</p> <p>Reboot DOUJIN Culture, Re-create Our Fields.</p>  <p>1. Re-Creation クラウドファンディング "Re-Creation" Crowd Funding クリエイション初となるクラウドファンディングを、7月上旬~当日に開催予定。ご支援を頂いた方にRe-Creationをテーマにしたスタッフグッズや、レアな体験をお返しします!</p> <p>2. クリエイションHistoryガチャ "Creation History" Capsule Toys 過去のカタログ関連グッズや、タペストリー等の公式販売物の他、今回しか手に入らないアイテムが当たるガチャを開催します! (前回の中止費用を補填させていただきます!……)</p> <p>3. 動画配信 "クリエイション秘密基地" Broadcasting "Creation Secret Base" こころもクリエイション初となる動画配信を企画中。当日終了後の安否会ができない代わりに、参加者のみなさんと異言交換ができればと、初めてのことで目指しています(7月上旬配信予定!)</p> <p>4. Reboot DOJIN プロジェクト Launching "Reboot DOJIN" Project 同人誌即売会が開催されないことで、大変な状況にいらっしゃる同人書店さんや印刷会社さんと一緒に同人界を再始動(Reboot)して盛り上げるべく、様々なコラボレーションを企画中!</p> | <p>サンシャインクリエイション 2020 SUMMER</p> <p>参加予定のみなさんへのお知らせ</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; font-size: small;"> <tr> <td> 発熱・体調不良の場合、来場を控えて下さい</td> <td> リストバンド型入場証の購入をお願いします</td> <td> 入れ替え制等による入場制限にご協力下さい</td> </tr> <tr> <td> 入場時、手指の消毒にご協力下さい</td> <td> 帽子の着用や水分補給等で熱中症対策を</td> <td> 可能な限りマスクを着用して下さい</td> </tr> <tr> <td> 対人距離の確保に留意して下さい</td> <td> 長時間の会話は控えて下さい</td> <td> 万が一に備えて随時公式情報を確認して下さい</td> </tr> </table> |  発熱・体調不良の場合、来場を控えて下さい |  リストバンド型入場証の購入をお願いします |  入れ替え制等による入場制限にご協力下さい |  入場時、手指の消毒にご協力下さい |  帽子の着用や水分補給等で熱中症対策を |  可能な限りマスクを着用して下さい |  対人距離の確保に留意して下さい |  長時間の会話は控えて下さい |  万が一に備えて随時公式情報を確認して下さい |
|  発熱・体調不良の場合、来場を控えて下さい |  リストバンド型入場証の購入をお願いします |  入れ替え制等による入場制限にご協力下さい | | | | | | | | |
|  入場時、手指の消毒にご協力下さい |  帽子の着用や水分補給等で熱中症対策を |  可能な限りマスクを着用して下さい | | | | | | | | |
|  対人距離の確保に留意して下さい |  長時間の会話は控えて下さい |  万が一に備えて随時公式情報を確認して下さい | | | | | | | | |

各企画にはそれぞれ担当者をアサインしたが、いずれも初めての試みであり、準備は苦勞を極め、責任者 zoom 会議 (第 5 回: 6 月 20 日・第 6 回: 6 月 27 日・第 7 回: 7 月 11 日) を通じてブラッシュアップが行われていった。以下、企画ごとにまとめておく。

① Creation: Re-Creation クラウドファンディング

最初に思いついたものの一番の難産であった。我々の後に、コミティアが 1 億円を超える支援を集めるのを見て、コミティアブランドの凄さを改めて思い知ったが、サンクリがどの程度を目標金額として設定すべきなのか迷い、Spring の開催中止によるカタログ印刷費や会場関連費の一部補填ができればと思い、100 万円とした。

リターンについて、ライブ・フェス好きの自分が 8 月開催なので「タオル」「T シャツ」を主張したほか、モノではなく体験を提供する「入場誘導体験」「閉会宣言体験」についてはあっさり決まった。サークル参加権利を含まない一般参加者向けのプランが、5,000 円の次が 30,000 円になっていたので、Summer 開催直後の 8 月 5 日に当日のヒストリーガチャで用意した缶バッジのセットをリターンとして追加した。

クラウドファンディングの募集文章は気合を入れて書いたので、おまけに掲載させていただく。7 月 16 日に開始リリース、7 月 17 日になった直後に責任者メーリングリストに「100 万達成した状態からスタート? したように見えます」という指摘が入ったが、ご案内の通り間違いではなく、早々の目標達成を知る。その後も継続的に支援をいただき、294 万円という結果を達成できたことに改めて御礼を申し上げたい。

| | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|--|---|--|---|---|---|--|
|  <p>クリエイションが参加者と一緒につけてきた この場を、未来の参加者に届けていくために クラウドファンディング 始めます</p> <p>クラウドファンディングプロジェクト “池袋発の同人誌即売会サンシャインクリエイションを未来の参加者に届けたい”</p> <p>CAMPFIREで始動、8月31日まで!</p> <p>1998年から、池袋で同人誌即売会を開催しています。コロナによる中止や規模縮小により、運営は苦しい状況です。でも、僕たちはリアルの場の可能性、そこに生まれる共同幻想や、偶然の出会いの力を信じています。過去・現在・未来の参加者にご支援を頂くことで、まだ見ぬ表現に出会えるこの場を、届けていきたいです。</p> | <p>池袋発の同人誌即売会サンシャインクリエイションを 未来の参加者に届けたい!</p>  <p>サンクリは理念の中心に「参加者と一緒創る」ことを置き、変化していくことを厭わない即売会です。これまで、いろいろな危機はありましたが、ひとつひとつ変化しながら、乗り越えてきました。こうした金銭的な支援をお願いするのは初めてのことでありますが、クラウドファンディングに参加してもらうことで、即売会を「一緒に創る」体験を、みなさんに還元できればと思っています。</p> <p>リアルの同人誌即売会には、単純に機能では語れない「魔力」があると思うのです。ハレの日の熱狂が生み出す共同幻想、その幻想を支えられた共同体的な安心感、その日・その場所にしかない作品を追う焦燥感、人や作品との偶然の出会い—こうした価値が多く参加者が魅力を感じ、同人誌即売会というバトンが、きっと先人から僕たちに渡されてきたのでしょう。</p> <p>リアルの同人誌即売会、そしてその新たな様式を探索するサンクリというフロンティアを、まだ見ぬ未来の参加者につなげていきたい。この場で表現した喜びをきっかけに創作の道を志すサークルの中には、未来の手塚治虫や宮崎駿、新たな表現を追求する次世代のクリエイターがいるかもしれません。そんな場の可能性を夢見て、今回のプロジェクトを立ち上げました。</p> | | | | | | | | | |
| <table border="0"> <tr> <td> <p>ここでしか読めない裏話が!</p>  <p>郵払+限定レポートメール</p> <p>1,000円-</p> </td> <td> <p>Summerのスタッフタオル!</p>  <p>3,000円-</p> </td> <td> <p>SummerのスタッフT!</p>  <p>5,000円-</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>カタログ/入場証と交換!</p>  <p>5,000円-</p> </td> <td> <p>来年1回、当選確約のご招待!</p>  <p>10,000円-</p> </td> <td> <p>さらに倍! 来年2回ご招待</p>  <p>20,000円-</p> </td> </tr> </table> | <p>ここでしか読めない裏話が!</p>  <p>郵払+限定レポートメール</p> <p>1,000円-</p> | <p>Summerのスタッフタオル!</p>  <p>3,000円-</p> | <p>SummerのスタッフT!</p>  <p>5,000円-</p> | <p>カタログ/入場証と交換!</p>  <p>5,000円-</p> | <p>来年1回、当選確約のご招待!</p>  <p>10,000円-</p> | <p>さらに倍! 来年2回ご招待</p>  <p>20,000円-</p> | <table border="0"> <tr> <td> <p>タブストーリーフリーク向け!</p>  <p>30,000円-</p> </td> <td> <p>先頭を引いて、そのまま入場!</p>  <p>50,000円-</p> </td> <td> <p>気分はもう代表!</p>  <p>100,000円-</p> </td> </tr> </table>  <p>Creation:Re-Creation</p> <p>ご支援よろしくお祈いします!</p> | <p>タブストーリーフリーク向け!</p>  <p>30,000円-</p> | <p>先頭を引いて、そのまま入場!</p>  <p>50,000円-</p> | <p>気分はもう代表!</p>  <p>100,000円-</p> |
| <p>ここでしか読めない裏話が!</p>  <p>郵払+限定レポートメール</p> <p>1,000円-</p> | <p>Summerのスタッフタオル!</p>  <p>3,000円-</p> | <p>SummerのスタッフT!</p>  <p>5,000円-</p> | | | | | | | | |
| <p>カタログ/入場証と交換!</p>  <p>5,000円-</p> | <p>来年1回、当選確約のご招待!</p>  <p>10,000円-</p> | <p>さらに倍! 来年2回ご招待</p>  <p>20,000円-</p> | | | | | | | | |
| <p>タブストーリーフリーク向け!</p>  <p>30,000円-</p> | <p>先頭を引いて、そのまま入場!</p>  <p>50,000円-</p> | <p>気分はもう代表!</p>  <p>100,000円-</p> | | | | | | | | |

② クリエイションヒストリーガチャ

昨秋から今年2月上旬にかけて、私の好きなバンドのツアーがあったのだが、東名阪でガチャをやっていたのを見て、救済企画的な位置付けで追加したものである。

こうした企画にはシビアな副代表のOさんには渋い顔をされつつ、過去の表紙カタログの作家さんのご協力による缶バッジ、中止となったSpringのカタログを軸に実現することができた。それ以外にも事務局内や倉庫を探索し、過去のスクールカレンダーや冊子・タペストリー、合同打ち上げ用の酒枧など、蔵出しグッズを用意した。

当日も好評であり、開会直後には用意していたガチャ景品は全て完売した。



③ Sunshine Creation Online (エアイベント)

メロンブックスさんからの提案を元に実現したのが、このエアイベントである。メロンブックスさんはエアイベントに力を入れており、通販のプラットフォームをエアイベント用に活用し、イベント期間の販売分は手数料率を下げたサークルに入るお金を増やしつつ、イベント側に売上の一部を還元するというスキームを展開している。同書店に在庫を持つサークルさんであれば、オンラインで在庫を移動することもできる。

このエアイベントプラットフォームを使って開催されるオールジャンルの同人誌即売会は、Summerが初めてであった。5月のエアコミケのように、これまでのエアイベントは開催しているように振る舞う「約束に基づく遊び」に過ぎなかったが、エアイベントであってもマーケットの機能を果たしうる、ということが示せたと思っている。

実際、当日池袋に来られないサークルさんに頒布機会を提供することにより、より多くの新刊が発行され、印刷会社が利用される機会が増やせたと思うし、当日来場できなかった、買い逃した一般参加者のみなさんに作品を見てもらうことで、より場の付加価値を高めることができたのではないかと考えている。

④ Reboot DOUJIN パートナーシップ (広告パッケージ)

企業さんに今回の「Reboot DOUJIN Culture」にどう乗ってもらおうか考えた企画である。新型コロナウイルスの影響で、同人誌にかかわる印刷会社や同人書店といった企業さんも大きなダメージを受けている。こうした局面において、単なる広告ではなく、クラウドファンディングと同様に「文化の継続に向けた支援」「パートナーシップの確認」を掲げて、同じ船に乗ってもらおうことを目指してみた。

これも個人的には昨夏に行った四国の某フェスで、入口からステージに続く道にアーティスト名の「のぼり」がずらっと並んでいたのを見て、サンクリでも並べてみたいなあと思ったのがきっかけであった。各パートナー企業の「のぼり」に当日のリーフレットやWebカタログなど、各種の媒体広告をセットにして広告パッケージとして組み立てた。

この結果、想定を超える数の企業さんにご協賛をいただくことができた。パートナー企業一覧を以下に掲載させていただく。

- ・ 恒信印刷株式会社 様
- ・ サンライズパブリケーション株式会社 様
- ・ 株式会社虎の穴 様
- ・ 有限会社ねこのしっぽ 様
- ・ プリンティングイン株式会社 様
- ・ 株式会社ブロス 様
- ・ 株式会社ポプルス 様
- ・ 株式会社メロンブックス 様



Reboot DOUJIN

企業協賛パートナーシップ一覧



DOUJIN IS NEVER DEAD !

⑤ クリエイション秘密基地 (YouTube 動画配信)

サンクリの特徴のひとつが、閉会した後に、代表を中心にその回の振り返り、今後の展望を話し、質疑応答を行うという、コアなファンが集う「全体反省会」である。新型コロナウイルス対策のひとつとして、Summerでは会期を短縮し全体反省会を行わないことが早々に決定し、コミュニケーションを代替する企画を立てることが必要であった。

これも個人的なきっかけがあって、今年の春ごろにやたら時間があって、かなりYouTubeを見て回っていた(特にQuizKnockとか東海オンエア)。博麗神社例大祭を始めとする一部の同人誌即売会では生放送を積極的に行っており、スタッフもそれなりに重なるクリエイションとしても「やってみようか!」というのが出発点である。

動画編集の経験がほとんどないスタッフのM君に無茶振りし、機材を用意してもらって始めたのがこの「クリエイション秘密基地」であった。Summerの開催コンセプトを説明した第1回は6月28日に、企画概要を説明した第2回を7月19日に、直前の注意事項とヒストリーガチャを告知した第3回を7月29日に公開した。

なお、カメララテストの時間には、出演者U君にお題を無茶振りする「クリエイション大喜利」が毎回行われている。これは……いずれ公開するときに来るかもしれない。

サークル参加申込〆切前日の6月28日朝の時点で申込が配置想定の400スペースを突破し、6月29日の〆切時点で約580スペースとなった。翌6月30日にサンシャインシティ展示ホールで最も大きいDホールの空きを確認し、ソーシャルディスタンス等を考慮しても全スペースの配置が可能と判断し、同日には会場拡大の告知を行った。

7月4日～5日、配置集会を開催し、サークル配置を行った。このうち7月4日には責任者が集い全体を俯瞰する年2回の「戦略会議」を開催した。クリエイションは戦略会議を通じて、各部門の責任者にイベント全体の収支をオープンにし、継続に向けて何ができるかをそれぞれが考えるようにしている。3月の中止が直撃した厳しい数字を見て頭を悩ませつつ、参加費の設定やクラウドファンディング活用について議論を重ねた。

7月17日にWebカタログを公開し、7月19日にはzoom上でスタッフ研修およびスタッフ集会を行った。クリエイションは過去の苦い経験を踏まえ、スタッフには定期的に情報セキュリティについての研修受講を義務付けているが、初のオンライン開催となった。スタッフ集会についてもオンラインは初、全体の情報展開は良いのだが、部署別の分科会はやはりやりにくいとの声もあり、こうしたスタッフワークについても「ニューノーマル」活用の必然性を感じる機会となった。

7月22日、当初8月1日から予定されていたイベント規制(人数上限5,000人)の緩和を見送り、8月末まで延長することが示された。Summerの規模であれば直接の影響はないが、緊迫した状況が続いた。

7月28日に開催前最後となる第8回責任者zoom会議が行われ、当日運用および備品・POPの最終確認を行った。また、一般参加者向けの諸注意・案内(資料X)についても最終化を行い、同日にリリースを行った。

オンライン申込期間2週間、〆切～当日まで4週間。これまでにないスケジュール、ハレの日を願う企画を詰め込んだSummer、いよいよその火蓋が切られようとしていた。



サンシャインクリエイション 2020 summer 参加にあたっての諸注意・ご案内

更新：2020/07/16

開催タイムテーブル

| | | | |
|-------|---------------------------------------|-------|---|
| 9:00 | 場外販売所開始予定（リストバンド型入場証販売開始） | 13:30 | コスプレ・クローク新規受付終了 |
| 9:30 | 場内販売所開始予定 更衣室・クローク開始予定（コスプレ登録受付開始） | 15:00 | サンシャインクリエイション閉会 (従来より30分の短縮となり、全体反省会は行いません) |
| 11:00 | サンシャインクリエイション閉会 | 15:30 | 更衣室・クローク利用終了 |

一般の諸注意

リストバンド型入場証

今回は、従来の「カタログ」に代わり「リストバンド型入場証」での入場となります。「リストバンド型入場証」は書店などでの事前販売はなく、**当日販売のみ**となりますので、**一般参加の方は必ず当日お求めください**。開会より順次入場を行いますが、場内の混雑や来場者の状況により、入場制限を行う場合があります。

早朝来場の禁止と、入場方法

今回は、**入場待機列の作成や入場方法も従来と異なり、入場は先着順によらない方法にて行う予定です**（方法はTwitterや当日会場にてご案内します）ので、早く来場しても早く入場できる訳ではありません。また、近隣住民の方への迷惑（会場となるサンシャインシティには居住区があります）など、クレームの直接的・間接的な原因となり、最悪の場合は会場利用ができなくなる可能性もあります。これからもサンシャインシティで開催を続けていくため、ご協力をお願いします。

場内の撮影と取材

会場内での写真及び動画撮影については、その場の雰囲気を書す程度のものでしたら構いませんが、個人を特定できるような撮影の仕方はご遠慮ください。スナップ写真等の撮影の際は周囲に迷惑の掛からないようお願いいたします。

当日の落とし物・忘れ物

会場内で落とし物をした場合「総本部」までお問い合わせください。落とし物を拾った場合は「総本部・ホール本部」で受付をしています。開催終了後は、2週間以内であればクリエイション事務局までお問い合わせください。衛生上保管に問題のあるもの（タオル・食品類や、**布マスク・手袋などの衛生・感染対策用品と思われるもの**）は個別処分させていただきます。

ケガ・体調不良

開催中にケガをしたり、体調不良になった場合はお近くのスタッフまでお申し出ください。クリエイションでは医師・救護室の準備はなく、総本部に用意してある救急セットでの応急処置や、控室での一時的な休憩、もしくは救急車の手配となります。**盛夏の開催となる今回は「熱中症の危険」も十分に気を付ける必要があります。発熱や基礎疾患の有無に関わらず、寝不足や疲労感のある場合は「参加の自粛」や「早めの帰宅」をご検討ください。**

会場内は大変混雑するため、お子様にとって過ごしやすい環境ではありません。保護者の責任にて監督をお願いします。

禁止行為

- ×喫煙所を除く施設内外での火気の使用
- ×展示ホール・公共スペース以外の場所への無許可立ち入り
- ×無許可の商行為・営業行為
- ×危険と思われる一切の行為
- ×スタッフ・警備員・会場係員の指示に従わない行為
- ×公共通路での座り込み、公共ベンチの占有

当日企画

- ・クリエイションニュース
- ・参加者アンケート（オンラインにて実施予定）
- ・クリエイションストーリーガチャ
～ハズレ無しのグッズ大量放出祭2020夏～(仮)

持込禁止物品

- ×可燃性危険物（大量のマッチや電池・油脂・燃料・花火など）
- ×乗物類（自転車・スケートボード・キックボードなど）
- ×周囲に危害を加える可能性のあるもの（鋭利な装身具類など）
- ×会場を破損・汚損する可能性の高いもの（未乾燥の染料など）
- ×ペット・動物（盲導犬・介助犬などは除く）
- ×その他スタッフが危険と判断した物品

※次の当日企画は今回行われません

- ・ブロックノート（サークル向け）
- ・ラクガキコーナー
- ・買って量ってびったんこ
- ・全体反省会
- ・色紙プレゼント抽選会（後日Twitter上にて行います）



creation office

新型コロナウイルス感染対策について

感染防止対策（体調の管理・来場前の検温）にご協力をお願いします

当日来場前に検温を行ってください。平熱を超える（一般に37.5度以上が目安）の発熱がある場合、倦怠感・悪寒・咳などの症状がある場合、感染症陽性者と濃厚接触者の疑いのある場合は参加をお断りいたします。このほか、夏バテや重度の寝不足を含む体調不良の自覚がある場合も参加をご遠慮ください。また、高齢や基礎疾患・体質などによる健康不安がある方、感染リスクの高い方と生活をされている方などは、（かかりつけの医師に参加の可否を相談するなどして）参加の自粛もご検討ください。

過去のサンクリでは経験のない真夏の開催です。体調不良は熱中症の大きな要因にもなりますので、体力・体調共に万全な状態でのご参加を心がけてください。

マスクの着用・咳エチケットをお願いします

会場内（ホール・公共スペース）では、原則としてマスクの着用をお願いします。屋外で待機・移動する場合は、熱中症防止の観点から水分補給を十分に行うと共に、必要に応じマスクを着脱して体調管理に努めてください。マスクを外す場合は会話を控え、咳エチケットやソーシャルディスタンスの確保など、周囲に対して十分配慮してください。

入場待機列・頒布列でのソーシャルディスタンス確保をお願いします

入場待機列やサークル前での頒布物購入列では、1m程度の距離間隔をもって並ぶよう（「前ならえ」の要領で前後の間隔を確保するよう）に心がけてください。

サークルスペースにおける頒布物購入・交流での配慮をお願いします

スペースでは小銭を十分に用意するなどして、頒布物を円滑に購入できるようにしましょう。参加者同士の交流はリアルな場である同人誌即売会の大切な要素ではありますが、会話や挨拶はなるべく手短かに済ませるよう、配慮をお願いします。

入場制限にご協力をお願いします

政府・自治体、業界団体・会場のガイドラインにより、会場内への入場者数に制限があることから、**必要に応じて一般参加者の入場制限を行います**。入場制限については当日の混雑・来場者の状況に応じて行い、入場待機列の作成なども従来と異なる方法によって行う予定です。詳細はTwitterや当日会場でご案内しますので、アナウンスにご協力ください。

参加情報の把握・登録にご協力をお願いします

各ガイドラインでは、感染者発生時のクラスター対策などのため、当日参加された方に連絡が出来るよう対策を求められています。これに基づき、クリエイションでは「公式Twitterのフォロー」と「参加時に氏名・連絡メールアドレスの登録」をお願いします。詳細は「リストバンド型入場証」の購入時に配布する参加リーフレットに記載すると共に、会場内POPや案内看板にて周知を行いますので、ご協力をお願いします。

また、政府の提供する新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」もご利用ください。

クリエイション事務局公式Twitterアカウント https://twitter.com/creation_office

厚生労働省：新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

その他、一般的な対策をお願いします

- ・こまめな消毒や手洗い、清潔なマスクやタオルの用意をお願いします。
- ・三密を避けるよう心がけ、事務局からの告知のほか、政府や自治体の感染対策を日ごろから確認するようにしましょう。

厚生労働省：新型コロナウイルス感染症について https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

クリエイション事務局が行う一般的な対策

- ・開催時間を短縮します（11:00～15:00）
- ・会場の出入口付近、各本部などに消毒液を設置し、利用できるようにします。
- ・場内換気のため、通常開催より多くの扉やシャッターを開放するなどします。
- ・高頻度接触箇所（本部の机や、次回申込受付の記載台など）の小まめな消毒を行います。
- ・参加者の集合や、高頻度接触につながる企画（全体反省会・ラクガキコーナーなど）を中止します。

コスプレ（更衣室）・クローク利用の案内

コスプレ登録・コスプレの時間

コスプレをする場合は登録が必要で、登録は更衣室（会場となる文化会館の7階会議室）で行います。登録をした際に「コスプレ登録証」を1人1枚お渡ししますので、コスプレをしている最中は常に携帯してください。

- ・登録利用料 1,000円
- ・コスプレ登録受付時間 9:30～13:30 ※一般参加の方は11:00(開会)～13:30
- ・コスプレ可能な時間 9:30～15:00 ※一般参加の方は11:00(開会)～15:00
- ・更衣室の利用終了時間 15:30

更衣室・クロークの場所

今回、更衣室・クロークは会場となるサンシャインシティ文化会館の「7階」会議室702・703号室です。会場（Dホール）のある文化会館2階より、エレベーターを利用して、7階へ上がってご利用ください。

更衣室利用について

- ・更衣室は、着替えが終わったら速やかに退室してください。休憩・待合せはできません。また、更衣室へ荷物を置いておくことはできません。クロークをご利用ください。
- ・更衣室（やトイレなど）での、ヘアスプレー・ドライヤーの使用は禁止します。
- ・登録時に案内ペーパーが配布されますので、内容をよく読んで利用ください。

クローク利用について

- ・クローク受付は、更衣室と同じ場所です。
- ・利用料金は1口あたり500円です。
- ・会期中の出し入れは自由です。
- ・コスプレをしていなくても利用可能です。
- ・破損や汚損の恐れがあるもの、貴重品・生物その他スタッフが不適当と判断したものは、お預かりできません。

コスチュームに関する制限・お願い

- ・コスプレをしたままの来場、帰宅は禁止します。
- ・公務員（特に警察官・消防官）や業務上権限・責任をもつ職業（ガードマンなど）のコスプレを行う場合は、一見して正規の制服でないことがわかるよう配慮してください。
- ・装身具・小道具などは鋭利な部分がないように加工し、柔らかい素材を使用してください。
- ・小道具や長物（模造刀剣、杖など）は振り回したりせず、しっかりと手に握った状態で持ち歩いてください。トイガン（エアガン・ガスガン・電動ガン）については、弾やガス、電池を取り除いて発射できないようにしてください。
- ・下着が見えるなどの露出が著しいコスチュームの着用を禁止します。肌の露出が多い、スカートの丈が短い場合などはタイツ・ストッキング等の着用を推奨します。
- ・眼帯、イヤマフラーなど、視界・聴覚能力を低下させる小道具は、移動時には外し、撮影時のみ着用してください。
- ・ローラースケート、ローラージュズなどの車付きの履物や、乗用できる物などは、安全の為、持ち込みを禁止します。
- ・その他、スタッフの判断でコスプレの修正をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いします。

撮影に関する制限・お願い

- ・撮影会は「コスプレスペース（Dホール/バルコニーに設置予定）」内のみです。
- ・撮影をする前には、被写体になる方に必ず一声かけて、了承を得てから撮影してください。
- ・営利、非営利にかかわらず、不特定多数への公開行為（雑誌への投稿・ネット掲載等）は、被写体の方に目的・掲載方法・掲載メディアなどを伝え、承諾を得るようにしてください。
- ・赤外線カメラやマイクロカメラなどの特殊な撮影機器の使用は禁止です。
- ・会場外（ホール・更衣室・トイレ及びこれらの間を移動する場合を除く）にコスプレのまま出ることにはできません。
- ・会場外でのトラブルに事務局は関知しません。

4. Summer 当日

サンシャインクリエイション 2020 Summer の開催日、8月2日は晴天に恵まれた。最高気温は32度と8月にしては比較的過ごしやすく、同人誌即売会日和の一日となった。以下、当日の記録をお伝えしたい。

6:30 販売責任者の T 君の車が迎えに来てくれて、サンシャインへと向かう。

7:30 スタッフ朝礼を行い、新型コロナウイルス対策や傷病者対応フローについて最終確認を行った。8月にサンクリは初めてであり、熱中症対策として十分に水分補給を行うようスタッフに再度徹底した。

7:45 D ホール解錠、設営開始。SC46（2010年2月）以来の使用となる D ホール、当時からいるスタッフが割といてくれるのが心強い。柱などの目印が少ない D ホールは基準点を作りづらく設営が難しいが、現場を見ながらの机の間隔確保などを進めていく。

9:00 設営を終了し、リストバンド型入場証の販売とサークル入場を開始する。各即売会の主催者が総本部にあいさつに来てくれ、開催までたどり着いたことを喜んでくれており、胸をなで下ろす。リストバンド型入場証の販売開始当初、久々の D ホール使用ということで参加者へのルート案内が十分でなかったこともあり、参加者が密集する状況を作り出してしまった。販売開始時の混雑を避けるために、リストバンドの番号をランダムとしたが、周知不足もあり十分な効果を上げることができなかった。

サークルさんの出席率は約8割。サークル申込期間が6月中旬からと直前であったこともあり、ある程度当日の状況を見据えて申し込んだサークルさんが多かったのだと考えている。隙間を縫って、知り合いのサークルにあいさつして回る。各サークルがそれぞれ対策を打ちつつ、リアルの場の意味についていろいろな方のお話を聞くことができ、勇気づけられる。

10:30 リストバンドの番号順に整列開始。この番号順に整理というのも、サンクリとしては初めての試みである。「前へならえ」したくらいの一定間隔を開けて、一般参加者の待機列を並べていく。

11:00 の1分前、少し早い時間からマイクを持ってテーマ「Creation: Re-Creation」や、それに込めた思いをお話した。むかしガタケットに遊びに行ったとき、代表の坂田さんが熱い思いを語り始めて、途中から「新潟では、エヴァが、放送されなかったんですよ……！」という話になって感極まって泣き出し、開会が10分遅れた事件をふと思い出した。

リストバンド型入場証の販売数が1,000部(1,000人)を超えていたため、入れ替え入場の実施が確定し、1回目の入場を開始する。このとき、伝達ミスから一般入場列の先頭数列を開会前に入場させてしまうトラブルが発生したものの、幸いにして大きな混乱には至らなかった。

サークルの販売待機列はドアから屋外バルコニーに流す運用案であったが、やはり混雑サークルの机付近から廊下において、一時の密集が見られた。スタッフが巡回し、列の間隔を空けてもらう協力をお願いしていく。平時の混雑対応においては、列の間隔を詰めて通路を作り出す「圧縮」と呼ばれる基本技術があるのだが、ウィズコロナの混雑対応においては、全く違う技術が必要とされることを改めて感じる。

開会直後、当日企画の目玉であったヒストリーガチャが終了。事前からの景品告知や当日のアピールもあり、想定より早い時間に完売となった。また、開会直後にアクセスが集中したため、Webの参加者情報登録フォームにアクセスしづらい状況となり、紙で提出いただくケースが発生した。

Summerにおいては下記3つのプチオンリーが開催されていた。プチオンリー主催者の方の選曲による会場BGMが順次流れ、そのときその場所にしかない同人誌即売会が醸し出す「ハレの日」の空気が会場に満ちていく。

- ・レトロゲーム & マイナーゲーム「ゲームサンシャイン」
- ・アイドルマスターミリオンライブ「MILLION CRE@TION」
- ・プリンセスコネクト! Re Dive「ソルの塔でランチタイム 4 登目」

12:00 入れ替え1回目終了。一般参加者の方には一度退場していただき、12:15から2回目の入場を開始する。1回目ほどの人数はいないので、その後も会場キャパシティの範囲でリストバンド型入場証をお持ちの方に入場していただく。

15:00 閉会宣言。大きな事故もなくSummerを終了することができた。撤収を開始し、色紙抽選も全体反省会もないので、16:00に撤収を完了した。

備品を積んだトラックに乗り、事務局に帰って備品を返却して、18:00過ぎに当日の全ての業務が終了。正直、2週間くらい経つまではこの日が成功だったかは言い切れない状況ではあったが、一定の安堵感と共に家路に付いた。

翌日までエアイベント「Sunshine Creation Online」は継続、恒例の色紙プレゼントもリツイートによる企画として実施した。

■サンシャインクリエイション 2020 Summer 開催データ

開催日 : 2020年8月2日(日曜日)

開催場所: 池袋サンシャインシティ、文化会館Dホール

サークル: 528サークル(580スペース)

一般来場: 約1,800名

メインビジュアル: あめとゆき(サークル: あめのちゆき)



こうして、クリエイション事務局がニューノーマルの同人誌即売会を探す旅は、1つ目の宿場に到着した。次の Autumn まではずか2ヶ月弱、Summerで見出されたリストバンド型入場証の販売開始時や開会直後の混雑といった反省点に対し、早速対応策の検討が始まった。

【当日のツイートより # サンクリ】

撤収も終わり、スタッフ一同、いつもより1時間早く、会場を後にしました。サンクリ2020 SUMMER、全体反省会に代えて、ごあいさつのツイートです。

ここ数日、情勢のあまりよくない中、開催に至りました。参加者のみなさん、支援を頂いたみなさん、本当にありがとうございました。同人誌即売会の New Normal を探す旅に出る、というテーマの下、みなさんに再会し、活力をもらったという声が聞けたことを、本当に嬉しく思っています。

どこまでも「確実」はなく、文化の草の根である中小の同人誌即売会が取れる対策に限りがある中で、会場とも協議し、短い期間の中で、やれることをやってきました。もちろん、結果としてうまくいかなかったこともあり、それは次回に向けた課題として認識し、旅を続けていくことになります。

安易なこととは言えませんが、開催を続けることのみが、進化をもたらしますし、文化の継続への道を拓きます。色々なご意見はあるのですが、信念としてそう思います。今回改めて思ったことは、場を共にとり行う「参加者」のみなさんの協力の重要性です。

サンクリを選んできた参加者のみなさんが、サンクリを継続に導いてくれるのだと思います。この場に立てなかった仲間を含め、サークル・一般・スタッフが丸となり、同人文化を盛り上げ、未来につなげていければと考えています。引き続きよろしくお祈りします。ありがとうございました！



5. Autumn 当日まで

かつて、サンクリは年4回開催されており、そのときでも最低2ヶ月は間隔を空けるようにしていた。オンライン申込割合の増加や事務作業のデジタル化により、開催工数は減少しているが、今回のような前回から2ヶ月弱、しかも新型コロナウイルス対策を追加した上での開催は、クリエイション事務局にとって大きなチャレンジであった。開催から1週間後の8月9日、責任者による Summer の zoom 反省会が行われ、当日の反省点洗い出しと Autumn に向けたスケジュール確認が行われた。当日の状況把握に当たり、スタッフの報告に加え、Twitter のエゴサによる情報収集に当たった。最大の課題はリストバンド交換時の混雑であり、Autumn に向けてクラウドサービスを利用したチケット販売の検討に着手することになった。また、他の同人誌即売会と対策の水準感を揃えるため、入場時の検温・消毒の実施やサークル机上のついたて配布を行うこととなった。

Summer が「再開」であるならば、Autumn は「継続」の第一歩となる。場の継続に向けた願いを込めてコンセプトを「Make it possible to continue our fields!」と定め、8月10日にはツイートで告知を行った。

※ コンセプトツイート

8月15日、Autumn に向けた第1回責任者 zoom 会議。新型コロナウイルス対策の全体像を最終化、当日企画およびスタッフワークを確認した。この日にクリエイション秘密基地を3本撮りし、第5回を8月19日、第6・7回を8月22日に公開した。第5回では Summer から2週間が経過したこともあり、当日を振り返りつつ、Autumn のコンセプトと申込スケジュールを説明した。第6回ではクラウドファンディングのリターン追加、第7回ではサンクリの特徴であるプチオンリーについてお話しさせていただいた。

8月29日、Autumn に向けた第2回責任者 zoom 会議。サークルスペースのついたてについて、ロゴを入れるスポンサーを募るなどさまざまなアイデアが出るが、時間の制約もあり最終的には断念。検温については測定時間の短縮を図るため、サーモグラフィ導入を検討するも発熱者がいたときの個別対応が難しく、コスト的にも厳しいため、非接触体温計のレンタルにより対応することとなった。

また、このころサンシャインから提示された新たなガイドラインに基づき、入場可能人数について検討。前回とほぼ同数の入場が可能であると判断した。これに基づいて、プレイガイド (Live Pocket) でのチケット発行スキームを決定。ライブイベント同様の「先行抽選販売」「先着販売」「当日販売」の大枠が定まった。

9月5日、Autumn に向けた第3回責任者 zoom 会議。新型コロナウイルス対策の各施策について、準備の状況を確認する。初の試みとなる電子チケットからのリストバンド交換について、当日のオペレーション詳細が詰められていった。

9月13日、Summer 同様に zoom でスタッフ集会を開催した。責任者は会場付近の会場で集会を運営した。集会では9月末の予定であったイベント規制緩和の前倒しや直前に Yahoo! ニュースに掲載された同人誌印刷会社の苦境について共有し、開催の意義について確認した。また、ここまで述べてきた初版の新型コロナウイルス対策について

でも共有し、オペレーション上の疑問点を洗い出した。集会終了後、責任者は当日の運用をシミュレーションし、運用案で計画している窓口数で一般入場列が捌けるかなど、検証を行った。

9月26日、Autumnに向けた第4回責任者 zoom 会議。当日までのチケット売上を元に、当日の販売可能数を確認し、販売状況に応じた入れ替えの考え方について最終確認。やはり新しい方法だけあって、この段階でも POP や捨て看板の追加など、いくつかの調整が行われる。

9月27日 Autumn 当日。このレポートは、公式 Web に掲載される通常のアフターレポートに譲ることにする。同人界にとって特別な年となった2020年のクリエイションの舞台裏を語る限定レポートは、ここままで一区切りとしたい。

6. 同人文化の未来に向けて

こうして2020年のクリエイション、サンシャインクリエイション2020 Summer・Autumn は幕を閉じた。今年は新型コロナウイルスが社会を一変させた年として、東京オリンピック・パラリンピックが中止された年として、歴史に刻まれる一年となった。同人誌即売会においても、1975年以来毎年開催されてきたコミケットが開催されなかった年として、多くの同人誌即売会が中止に追い込まれた年として、一つの区切りとなったことは間違いない。

8月31日、かつてコミケットカタログを印刷し、クリエイションも初回からカタログの印刷をお願いしてきた共信印刷が、9月11日を以て同人誌印刷の扱いを休止することが発表された。個人的な文章からの引用となるが、

イベントを中止すると、施工やレンタル、フェスなら PA や照明、同人なら印刷という中小企業に致命的ダメージが行き、開催インフラが破壊され、文化は戻ってこない。慎重な対策検討は必要だが、災禍が過ぎ去った後の暮らしもある。不要不急と、自粛を一方的に求めるのは間違っている

と考えている。発表において休止の理由には触れられていないが、新型コロナウイルスによるイベントの中止が大きな要因であることは想像に難しくなく、場の継続を志向しながらも冊子カタログ印刷などで力になれなかったことを申しわけなく思っている。

2020年には、同人誌即売会の本質を考えることがとても多かったように思える。それはデジタルイベント、より引いた目線ではデジタルコミュニケーションのパワーであり、一方でリアルの場の価値であった。同人文化という作り手と受け手が相互作用しながら、さまざまな表現が縋り交ぜになり、進化していく潮流が失われることはおそくない。しかしながら、同人誌即売会という仕組みが時代遅れとなり、それを懐かしむ人たちが文化としての保存を望む人たちによる「獅子舞保存会」になってしまわない保障はどこにもない。

それでもなお、同人誌即売会という仕組み自体が進化しつづけることができれば、最新の表現を受け入れ、参加者によって支持されていくことは可能なのだと信じる。だから、クリエイションは同人誌即売会の可能性を追求し、“中規模同人誌即売会”というユ

ニークなポジションにあるサンシャインクリエイションを開催しつづけていく。

2021 年も決して楽観できる状況ではなく、急に状況は変わらないであろう。それでも、我々が諦めなければ、そして参加者のみなさんの知恵を結集することができれば、今回のクラウドファンディングでも掲げたように、この場を「未来の参加者に伝える」ことができるのだと思う。そんな願いを今回のレポートの結びとしたい。

最後にもう一度だけ御礼を。ご支援ありがとうございました！ 今後もクリエイションをよろしくお願いいたします。

III. おまけ

Appendix A. クラウドファンディング ご支援者一覧

Appendix B. クラウドファンディング プロジェクト開始にあたって

プロジェクト開始にあたって

こんにちは、クリエイション事務局です。1998 年から、サンシャインクリエイション (サンクリ) という同人誌即売会を、有志のボランティアスタッフの手で、年 3 回池袋で開催しています。池袋が乙女ロードに代表される「オタクの街」となる前から、街の変化を見守り、共に発展してきました。

COVID-19 により、3 月開催予定だったサンクリ 2020 Spring が中止となり、6 月開催予定だったサンクリ 2020 Summer が 8 月 2 日に延期となりました。印刷済みのカタログ印刷費や発注済みのレンタル費用、延期に伴う事務局の維持・運営経費が発生し、今後が見通せない中、運営が厳しい状態になっています。

サンクリは理念の中心に「参加者と一緒に創る」ことを置き、変化していくことを厭わない即売会です。これまで、いろいろな危機はありましたが、ひとつひとつ変化しながら、乗り越えてきました。こうした金銭的な支援のお願いをするのは初めてのことでありますが、クラウドファンディングに参加してもらうことで、即売会を「一緒に創る」体験を、みなさんに還元できればと思っています。

緊急事態宣言以降、多くの同人誌即売会が中止になってきました。この期間、同人誌即売会を単純な機能として見たとき、その一部はデジタルでの代替が加速化したような気がします。様々な通販プラットフォームはますます便利になり、家にいながらにして作品を手に入れ、それを楽しむことが、ますます容易になっています。また、今回の Stay Home により急速に普及した Zoom などの Web 会議プラットフォームは、移動のコストやリスクを低減しつつ、コミュニケーションの質も高めています。

しかし、こうした機能では表現されていない「魔力」が、リアルな同人誌即売会にはあ

と思うのです。ハレの日の熱狂が生み出す共同幻想、その幻想に支えられた共同体的な安心感、その日・その場所にしかない作品を追う焦燥感、人や作品との偶然の出会い——こうした価値が多くの参加者が魅力を感じ、同人誌即売会というバトンが、きっと先人から僕たちに渡されてきたのでしょう。

コミックマーケットさんを中心に、規模の大きい同人誌即売会は他にもありますが、サンクリには「中規模オールジャンル」であるというユニークさがあります。最大でも1,000-2,000スペース前後の規模であれば、机の間を練り歩いて、すべてのスペースを見て回ることもできます。こうした特徴から、サンクリには参加者を様々なジャンルや即売会に導く、ポータルサイトのような役割があるのだと思うのです。そこであるジャンルの楽しさを知った人が、オンリーイベントに参加したり、大きな同人誌即売会でより多くのサークルさんとの出会いを目指したり。

リアルの同人誌即売会、そしてその新たな様式を探求するサンクリというフロンティアを、まだ見ぬ未来の参加者につなげていきたい。この場で表現した喜びをきっかけに創作の道を志すサークルの中には、未来の手塚治虫や宮崎駿、新たな表現を追求する次世代のクリエイターがいるかもしれません。そんな場の可能性を夢見て、今回のプロジェクト「Creation: Re-Creation」を立ち上げました。

プロジェクト「Creation: Re-Creation」ステートメント

この春から初夏にかけて、多くの仲間たちのイベントが、中止・延期になってきました。デジタルの新しい可能性も見えてきたと考えれば、前も向けるのかもしれない。でもぼくたちは、汗をかいて会場を歩き回って、新しい作品やジャンルに出会えるリアルのが懐かしいし、そこで知り合った仲間とも、また逢いたいと思っています。

これからの同人誌即売会の新しい様式(New Normal)を探し出すためにも、夏のサンシャインクリエイション2020Summerを8月2日に開催します。一緒に立ち上がってくれる”表現する人”を応援するために。

Appendix C. サンシャインクリエイション2020 Summer/Autumn 代表あいさつ

Appendix D. Twitter 掲載 代表コラム総集編